

レオパートナーズ俱楽部 会員(株主の)皆様へお願ひ。

令和2年2月1日

レオパートナーズ俱楽部 会長

田中 悟

拝啓

突然のお便りで驚かれるかもしれません、昨年末より株式会社レノ（村上ファンド）からレオパレスに要求されている臨時株主総会の議案について当会の方針として皆様にお願いとしてお手紙と致しました。

村上ファンド率いる株式会社レノの「宮尾社長以下、現取締役 10 人全員の解任要求」。これに伴う臨時株主総会にどう向き合えばいいのか、考えさせられました。結論から言えば大反対です。

レノが見ているのはあくまで数字で、現実を理解していないからです。

現在のレオパレス問題は、そもそも原因が創業者の強引なビジネスに端を発しています。もちろん、施工不備はあってはならないことで、このことは誠意を持って対応するのは当然。実際に今のレオパレス 21 は愚直と言ってもいいぐらいに取り組んでいます。

それでもブランドが未だに毀損されたままであることが異常。何故か。メディアに印象操作的に執拗に報道されたからです。そのネタ元が例のクレーマーオーナーの集団です。クレーマー団体は私に言わせれば獅子身中の虫といつていいでしょう。レオパレス 21 でもこの状態を深刻に考え、対応策を練っています。株式会社レノはこういう根本的な事情をまったく理解しておりません。

この臨時株主総会の提案こそが現実やレオパレス 21 のビジョンを無視したファンド会社の思惑。そしてレノ側の人間が経営トップにでも座ることになれば、一体何が待っているのか。情報不足、認識不足の役員が我が物顔で利益追求に突っ走る、ということにでもなるのでしょうか。

こう憂慮していたらレノがいきなりの大トーンダウン。まるで私の考えを察したように議案撤回をしてきました。問題になるテーマはレノ側の人間（大村将裕氏）を新取締役に迎えるかどうか。

いくら最初の要求を撤回したからと言って、信頼が回復したわけではありません。これまでのやり口をみたら、いつ何時「ハゲタカの本性」をあらわすか分かったものではありません。

我々はレオパレスと共に賃貸事業を行う共同経営者として断固としてレノの提案は反対しなければなりません。会員のなかでレオパレスの株を持っているオーナーさんは議決権行使書がレオパレスから送られてきたら必ず議案内容を十分理解し会社発表（1月 30 日）のリリースを熟読して

1号議案は賛成（会社提案 2名の社外取締役の追加）

2号議案は反対（株主提案 レノ従業員から1名の取締役の追加）

に記入してレオパレスへの賛同の意思表示をお願い致します。

今こそレオパレスのサポートをしっかり行い自らの資産を守りましょう！

敬具